

**SPEEDIK**

**ポップス**  
**POPS**  
取扱説明書



### スピーディク 電気バリカン

MADE IN JAPAN

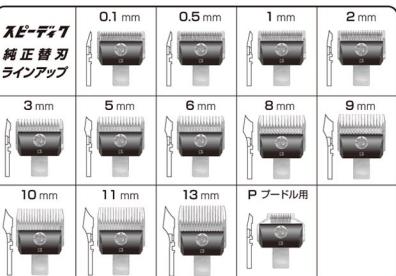
このたびは、スピーディク・クリッパー“ポップス”をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。私達はこの商品が、皆様のお役に立つことを心から願っております。持てる性能を、十二分に活用いただすよう、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

### スピーディクの替刃

替刃はクリッパーの命です。切れ味、そして耐久性が必要です。例えばベットの毛など柔らかく「コシ」がない毛に対しても、特に脱い切れ味とその切れ味を持続させる耐久性が不可欠の条件です。当社ではそのような条件を満たし、ご愛用の方々に喜ばれ、また信頼される替刃作りを日々かけております。

替刃をお求めの際には切れ味の脱い、当社製品 SPEEDIK 印とご指名ください。SPEEDIK 印の替刃は当社製クリッパー全ての製品に共通してご使用できます。当社では下記の製品等13種類の替刃を製造しております。

### 伝統の刃え



### スピード株式会社

〒579-8041 東大阪市喜里川町2番12号  
TEL (072) 981-4426 (FAX) (072) 981-6885ホームページ: <https://www.speedik.co.jp>

### △クリッパー本体に関する注意

- 【1】本体にセットする替刃はスピーディクの純正品以外はご使用なさらないでください。
- 【2】本製品は本体・替刃ともに水分を嫌います。水気の近くでのご使用もおやめください。状況によって感電することがあります。
- 【3】作動中はしっかり本体を持って操作してください。  
お使いにならない時は、本体が落しないように気をつけてください。  
また、お子様の手が届かないところに保存してください。
- 【4】お客様自身での分解・改造・修理はおやめください。
- 【5】使用されない時や、スイッチを入れても作動しない時は必ず電源からプラグを持って抜いてください。  
電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい時には使用しないでください。
- 【6】アリ(替刃を取り外せる金属の凹部分)側面部にあります小ネジは、替刃が抜けやすくなったり少しづつ締めて調整してください。  
小ネジを緩め過ぎると替刃が根元まで入らなくなります。  
緩め過ぎると小ネジがご使用中に解け落ちることがあります。  
小ネジがどれほど、内部のバネとボルトも抜け落ちます。  
それから粉失しやすいものですから、そのためにも緩め過ぎに注意ください。  
また、替刃をつけた状態で小ネジを緩め過ぎると替刃が抜けなくなります。  
緩めすぎると替刃が落下し、刃折れを引き起します。

- 【7】替刃は刃物です。思わぬことで怪我(ケガ)をすることもあります。  
慎重にお取り扱いください。
- 【8】替刃は銅材の上刃と下刃が擦り合って切れています。  
そのためどうしても摩擦熱が発生してしまいます。  
長時間ご使用になる方は予備の替刃を用意され、交替にお使いになられるようお勧めいたします。替刃での火傷の防止になります。

### ペットトリミングでご使用の方へ

- 【1】ペットの毛のもつれ毛や砂等異物がないよう、シャンプーやブラッシングをされてからご使用ください。もつれ毛や異物がありますと替刃の切れ味を劣化させたり、刃こぼれの原因となります。  
また、毛は十分に乾かしてください。水気は故障の原因となります。
- 【2】替刃をセットしてください。  
新品時の替刃は最もよく切れる状態にセッティングされています。  
裏面の油だけ拭き取り、どこでもいらすずそのままお使いください。  
分解等されますと切れなくなる場合がありますので、ご注意ください。

- 【3】トリミングの作業中は、ゆっくりクリッパーをお進めください。  
切り取る以上のスピードで進めますと毛が替刃にまみり、クリッパーが刈り取っていません。そのようなことを繰り返しますと替刃の劣化につながります。
- 【4】トリミングが終わりましたら、ブラシで替刃に付いた毛を表裏とも前方に向けて払い落としてください。刃の分解は必要ありません。  
また、上刃と下刃の接触面(刃先と後方のレール部分)注油してください。  
鎌を予防し替刃の切れ味保持に効果です。  
注油は本体に付属の刃のオイルもしくは市販のミシン油等をご使用ください。

- 替刃のmm(ミリ)表示は毛の生えている方向と逆のほうから刈り上げた場合、刈りのこるmm数です。ペットの身体は柔らかく動きますのでmm表示を参考数値にしてください。また、毛の生える方向に沿わせて、刈られますと表示以上に刈り残ります。
- 【注】…クリッパーの操作に慣れられるまでは、6mmまでをお勧めいたします。mm数の大きい替刃は毛がすぐく上げにくく、重さのバランスもとりにくく、熟練を要します。

### 仕様と特徴

〔品名〕スピーディク 電気バリカン SP-5型

〔名称〕“POPS”ポップス

仕様	電 源	AC100V. 50/60Hz
消費 電 力	5W	
振 幅 数	約1500~1600/分	
ボディカラー	ブラック/レッド	
サ イ ズ	L=約165 W=約39 H=約41 (mm)	
重 量	約290g	
コード 長 度	約2.4m	

### 特徴

- ★ 安心・安全・使いやすさを追求した国内生産品です。
- ★ ボディは手にフィットする形状を採用し、軽量小型化しています。
- ★ 熱を持ちにくい高性能マイクロモーターを使用しています。
- ★ 新ギヤ方式を伝導部に採用し、モーターの力を無駄なく強力にレバーと一緒に伝えます。
- ★ 利便性の高いフック式吊金具やスイッチなど細部にも様々な工夫を凝らしています。
- ★ 業務用小型バリカンとして最高の切れ味と操作性を兼ね備えております。

### アフターサービスについて

【1】お買上後すぐに異常が起きた場合は、内部機構や替刃に手を触れずお求めの販売店へお出しいただき、直接当社へお送りください。(点検調査のため保証期間内かどうか判断させていただきます。落とした場合は有償となります。修理・刃研の仕上がり直後も同様です)一般的な故障時も、同様に手をつければそのままの状態でお送り願います。

【2】切れなくなった替刃は、当社で研磨いたします。(ハサミや包丁とは研磨方法が異なりますので、当社へお送りください。研ぎシゴがなくなるまで数度研磨でき、新品同様の切れ味が戻ります。

【3】修理品、刃研品をお送りいただく場合下記のご留意ください。

- お名前・ご住所・郵便番号・電話番号は必ずお書きください。
- 輸送中の事故がないよう、本体は箱に入れて詰めて固定してください。替刃は折れやすいので、備え付けのキャップをかぶせるか、厚紙でキャップをつくるなど、特にご注意ください。
- できるだけ早くお手元にお戻してくるよう努力しておりますが、時期によって、修理・刃研が1ヵ月以上かかるときもございます。なにとぞご理解の上お願いいたします。

【4】当社ではこのクリッパーの補修用部品を製造打ち切り後、5年間は在庫しております。安心してお使いください。

【5】当社製品には保証書はございません。当社製品はユーザー様により使用頻度の個人差が大きく、日数ではわからないからです。  
かといって保証修理をしないわけではありません。

当社の熟練担当者が使用頻度を判断し、《無償修理》・《有償修理》を判断させていただいております。

【6】この製品に関するご質問、又ご不明な点がございましたら、当社までお気軽にお問い合わせください。  
また、弊社ホームページをご覧ください。

スピーカー株式会社  
<https://www.speedik.co.jp>



スピーカー株式会社

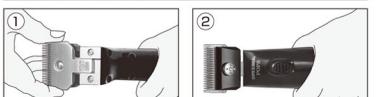
https://www.speedik.co.jp

### スピーディクの替刃

### 使用法

■本製品は当社の他の製品と同様に差込式になっています。  
下記の写真のように本体のアリ部分(四角凹のついた金属部)に替刃をセットしてください。

#### ■A. 刃を差し込む(セットする)



左手で本体、右指先で刃を写真のように本体のアリへ途中まで差し込みます。



刃を根元まで押し入れれば装着完了です。

#### ■B. 刃を抜く(リセットする)



左手で本体、右指先で刃を写真の様に持て下さい。  
本体のアリに水平方向に引っぱって抜いて下さい。

\* 替刃を抜くときは本体を作動させる必要はありません。  
\* セット時に本体を作動させますのは、替刃レール部(白いプラスチック部)の凹と本体レール部(頭部金属突起部)の凸を合わせるためです。凸を合わせないと替刃は入りません。

### △使用中に起り得る現象及び対処法

- 本体及び替刃の発熱について  
本製品はJET(電気安全環境研究所電気製品安全センター)が定めた認定10分(連続10分使用におけるバリカン本体及び替刃の温度上昇値)をクリアしております。  
連続使用における10分以上の使用で発熱がありますが、その際は一度バリカンの作動を中止してしばらく時間ををおいた後ご使用ください。替刃の発熱ですが、金属同士の摩擦により熱を持ちますのでその際も一度バリカンの作動を止め冷まされる事をおすすめします。

- [重要]本体が一時停止することについて  
使用中バリカンが異常に高温になった場合、急に作動が止まることがあります。これは故障ではなく、本体を守るために安全装置の電子部品ジスターが動き一時的に停止させているからです。  
しばらくして温度が下がれば復活し、再び使用することができます。  
この現象が起きる原因是ほとんどが替刃の状態によるものです。替刃への注油不足やレットとよばれるネジの締め過ぎにより本体に負荷をかけているからなのです。また長時間の連続使用によって停止することもあります。

- [予防法]  
①本書別欄の「替刃に関する注意-1」の【3】及び【5】をご参照ください。  
②長時間の連続使用は出来るだけ避けください。

- \*注油する油に関して  
弊社純正オイル(本体同梱)及び別売の「フレードクーリング」をご使用ください。  
純正オイルがない場合は市販のミシン油をご使用ください。  
シリコン系剤入りのものや消毒洗浄効果のあるものは避けてください。

### △替刃に関する注意-1

- 【1】スピーディク純正替刃はスピーディク以外のクリッパーにご使用なさらないでください。

- 【2】替刃の刃は細く、薄く、大変折れやすいものです。落としたり、ぶつけたりなさらないよう、お取り扱いには十分ご注意ください。

- 【3】レット(替刃上のネジ)はいじらないでください。

- 新品時は最も良い位置にセットしております。

- 最良の位置は1丁、1丁微妙に違い、出荷時に調整しております。

- レットを緩め過ぎると上刃と下刃の隙間が開き、毛が入り込んで替刃が刃に切れないくなる原因になります。レットを締め過ぎると負荷がかかり、替刃が高溫を持ったまま、本体の故障につながります。

- 万レットを動かしてしまわれたら、レットを一度手でいっぴいまで締め、そして半回転から一回転戻して下さい。

- 【4】替刃の掃除はブラシで毛を払う程度で結構です。

- 【5】注油は非常に大切です。

- 上刃と下刃の接触面(前方の刃先と後方のレール部)、座金(黒いプラスチック部)と上刃の接触面に、純正刃オイル(添付しているオイル)をご使用の前と後に1~2滴注油してください。

- 注油前は替刃の摩擦熱を抑え、本体への負担も軽減されます。表面の余分なオイルはきれいな布で拭き取ってください。

- 使用後は鎌の予防に効果があり、切れ味を保つのに効果があります。

- ブラシで替刃の毛をよく払ってから注油してください。

- 注油は本体純正の刃のオイルもしくは市販のミシン油等をご使用ください。

- 【6】替刃が抜け落ちたり、ガタガタするのはほとんどアリの問題です。

- (アリは本体頭部の四角い金属部分で、替刃と本体のジョイント部です)

- アリの内側の小ネジを締めください。それでも異常があれば、アリの□部分が□に変形していませんか。

- 何らかの変形があれば、アリの交換が必要です。

- 【7】順調に替刃が切れているときは、替刃の分解掃除は必要ありません。分解すると微妙な調整が狂い、逆に切れなくなる場合があります。

### △替刃に関する注意-2

#### ■替刃をやむをえず分解された場合の組み立て方

【1】上刃と下刃の接触面に、毛やゴミ等の異物がないか、間違いないか確認してください。

異物があれば、きれいな布で丁寧に拭き取ってください。

【2】根角(A)に下刃(B)を挿入します。

【注】根角(A)の頭部にある四角部を下刃(B)の四角穴にきちんとはめでてください。

【3】次に上刃(C)を挿入します。

下刃(B)のレール受けに上刃(C)のレール(白いプラスチック)をきっちりはめてください。

【4】次に座金(D)を挿入します。

【注】座金(D)中央部2本の金属ピンを下刃(B)の穴にしっかりとはめ込んでください。

座金(D)前方部のプラスチックの突起部(ループ状)を上刃(C)の溝にきちんとはめ込んでください。

【5】次に刃バネ(E)を挿入します。

【注】刃バネ(E)は順序を間違いないでござります。

【6】レット(F)を根角(A)にしめつけます。

【注】レット(F)は一度いっぴいまでしめで半回転から一回転ほど戻してください。

【7】上刃(C)や座金(D)にがたつきがないか確認してください。

がたつきがあれば【3】又は【4】からやり直してください。

\*作業中、指等でレットを押さえ込む方が、きちんと組み立てられます。

\*組み立て方がirezしますと、それまで切れていた替刃も切れなくなります。

再度組み直しても切れない時は、当社まで研磨にお出しください。

